

ヨーガの有害事象に関する報告書

2016年 9月 27日記入

分類	心体感覚系
実習者	80才代

1. この度、ヨーガ療法指導を中1. この度、ヨーガ療法指導を中心に教えている東京都立松沢病院認知症病棟で見られた有害事象（好ましくない症状、反応）について報告致します。
 ヨーガ療法指導中に生じた**有害事象**として、以下の症状にあてはまる数字を○で囲みます。

<p>[A] 目、耳</p> <p>1. 目の前が暗くなる</p> <p>2. 目がかすむ</p> <p>3. 耳鳴りがする</p> <p>[B] 呼吸器系</p> <p>4. 咳がでる</p> <p>5. 鼻がつまる</p> <p>6. 鼻水が出る</p> <p>7. 痰がでる</p> <p>[C] 循環器系</p> <p>8. 胸が痛む</p> <p>9. 動悸がする</p> <p>10. 息苦しくなる</p> <p>[D] 消化器系</p> <p>11. 吐き気がする</p> <p>12. 胃、お腹が痛む</p> <p>13. 下痢する</p>	<p>[E] 筋肉骨格系</p> <p>14. 関節が痛む</p> <p>15. 筋肉痛がする</p> <p>[F] 皮膚</p> <p>16. 顔がのぼせる</p> <p>17. 異常に汗をかく</p> <p>18. 皮膚がかゆくなる</p> <p>[G] 心体感覚</p> <p>19. 頭痛がする</p> <p>20. 頭が重くなる</p> <p>21. 身体が暑くなったり冷たくなったりする</p> <p>22. 気が遠くなる（ボーっとする）</p> <p>23. 身体の一部がしびれる</p> <p>24. 身体の一部がぴくぴく動く</p> <p>25. 身体がふらつく</p>	<p>[H] 疲労</p> <p>26. 疲れてぐったりする</p> <p>27. 気分がわるくなる</p> <p>[I] 感情</p> <p>28. 緊張する</p> <p>29. 頭が混乱する</p> <p>30. 憂うつになる</p> <p>31. 泣きたい気持ちになる</p> <p>32. 不安になる</p> <p>33. いらいらする</p> <p>34. 体がふるえる</p> <p>35. いやな体験を思い出す</p> <p>36. 何か恐ろしい考えが頭に浮かぶ</p> <p>37. おびえる</p> <p>38. 感情がたかぶってしまう</p>
--	---	--

(その他) その他、別の症状がありましたので報告します。

医療機関にてヨーガ療法を行っていたところ、車椅子から立ち上がり、車椅子のフットレストを動かそうと屈んだ時にバランスを崩して右腕の方からゆっくりと床に倒れ込む。打撲等はなかった

(有害事象の程度を報告します) この度の有害事象は以下に記すような、①軽微なもの（一時的であり、ヨーガの実習を継続することができる）、②中等度のもの（ヨーガの実習を中止した後、経過観察、安静が必要）、③重症のもの（ヨーガの実習を中止し、医師の診察、治療が必要）でした。

②中程度のもの・・・看護師が車椅子に乗せて実習を行っている部屋から連れ出し状態をみる。結果としては特に外傷などは見られないとのことだった。

2. この度の有害事象発生に関して、もう少し詳しく報告します。

*何の実習中に、どのような状態になり、どう対処したか、その有害事象発生の原因として考えられたことを報告します。

ヨーガ指導内容（ヨーガ療法技法の名前、或いは指導内容）	どのようなことが誰（年齢・性別・実習歴等）に起きたか？	対処（例：実習を中断して休ませた・実習は継続・緊急車両要請）	*原因として考えられたこと *ヨーガ団体保険加入の有無と保障申請の有無を報告
椅子に座位でアイソトニック様な膝の曲げ伸ばしの動きの時、車椅子のフットレストを動かそうとして体のバランスを崩す。	認知症のある高齢の女性。 ヨーガは初めて行う。	実習をすぐに中断し、サポート係が看護師を呼びに行った。その後、看護師と一緒に部屋を出て病室に戻る。後で確認をすると、大丈夫とのことでした。	突然の行動に戸惑って躊躇している間に転倒してしまった。対象者は認知症であり、後で難聴もあったと知った。事故時に看護師が不在だった。 保険加入 有、 保障申請：無

*** 以上、報告致します。***